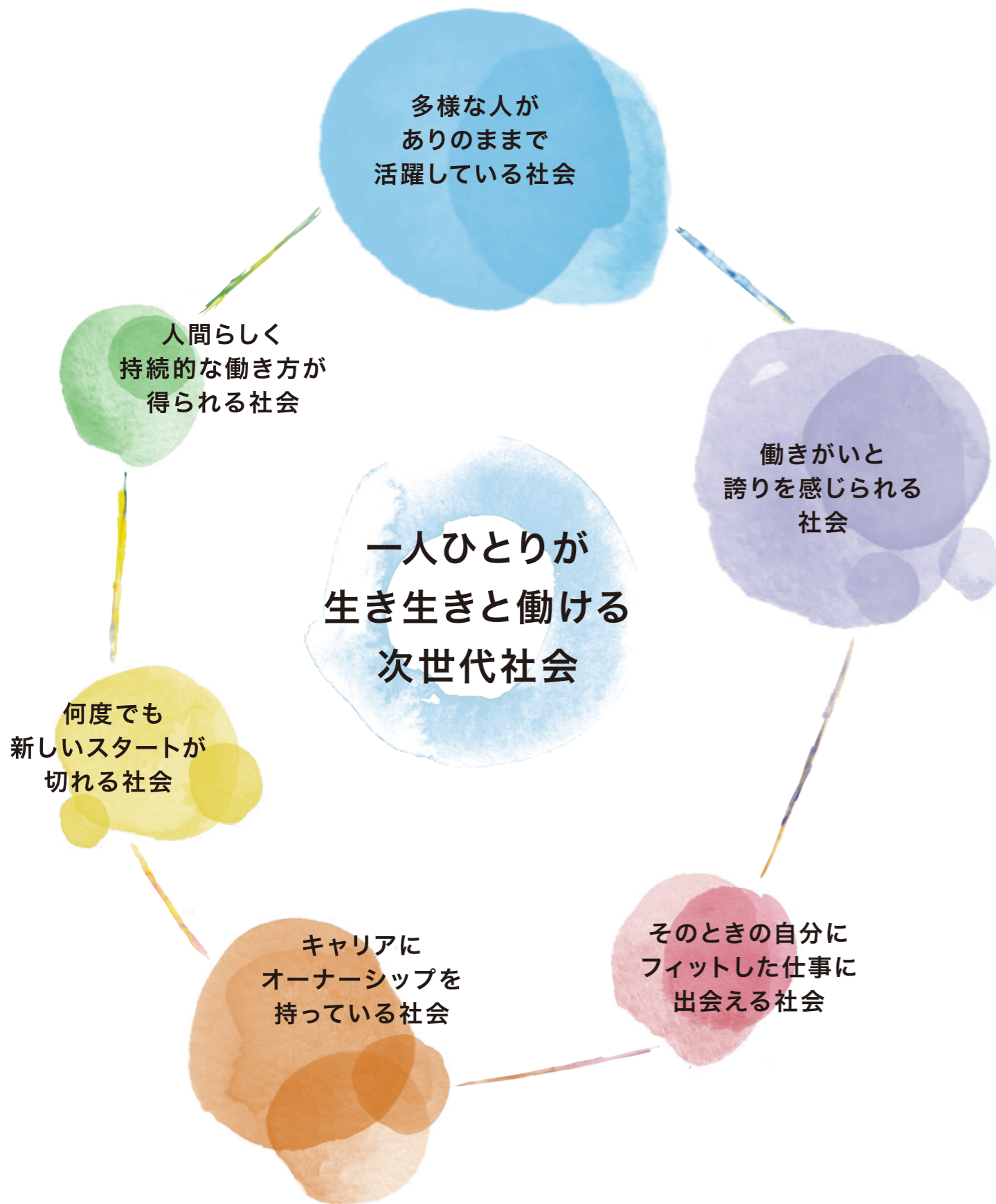




Recruit Works Institute



「一人ひとりが生き生きと働ける次世代社会」
実現のための6つのビジョン



多様な人がありのままで活躍している社会

働いている人、働きたいと考えている人は、実にさまざまです。年齢や学歴、性別、国籍などは、人それぞれです。家族構成、思想・信条も違います。障がいなどの特性のある人もいます。そして、一人ひとり、それぞれなりの想いと可能性を持っています。このように多様なすべての人々が、そうした想いや可能性を活かして、自分らしく、生き生きと働くことができる社会。それが私たちの思い描く姿です。日本の労働力人口が減少し始め、少子高齢化の進展とともに、労働力人口の年齢構成比のバランスが、大きくシニアへと傾く状況がさらに加速することが予見されるなか、日本の活力、生産性をこれからも維持していくうえでも、多様な人が多様な働き方を実現できる社会が待望されます。

こうした社会を実現していくためには、仕事内容や就業形態の違いによる質的格差をなくしていくことも必要になります。経営幹部、マネジャー、現場で働くプレイヤーそれぞれが、リーダーやインベーター、プロフェッショナルやスペシャリスト、顧客接点人材や研究開発スタッフなどあらゆる役割や職域の人々が、そして、正社員、契約社員、パートタイマーや派遣スタッフ、個人事業主などあらゆる就業形態の人々が、役割の違いを超えて受け入れられ、活躍していることが大切です。働きたいと思うすべての人が、どのような属性であっても、どのような形で働いていても、お互いを認め合いながら生き生きと働ける次世代社会の創造を目指して、私たちは調査研究を進めています。

人間らしく 持続的な働き方が 得られる社会

市場の成熟化、サービス産業化が進むなかで、日本の雇用は多様化しました。長期雇用や年功的に増加する収入を約束された雇用は減少し、期間の面でも収入の面でも、不安定な雇用が増加しました。誰しもが手にしていた職業能力を向上させる機会は、一部のみに限定されるようになりました。安定した雇用においても、長時間労働が常態化していたり、陰湿なハラスメントが横行しているような職場は少なくありません。しかし、働く人にとって、自身の人権が守られ、働く場所が居心地よく感じられること、その仕事が安定して続き、仕事を通じて自らの能力が高まっていると実感できることは、生き生きと働くうえでの基本であり、重要な前提です。

そのためには、働きたい人が安定して働き続けられること、自身の働きによる所得で自身の生活を成り立たせられること、長時間労働などの過度な負荷がなく、生活との折り合いがついていることが望まれます。また、職業能力の向上に向けた有形・無形の学習機会の提供も期待されます。そして、職場に差別やハラスメントがないこと、公正・公平な場であり、それぞれが人としての尊厳の尊重を約束されていることが不可欠です。このように安定性、経済性、継続性、発展性、健全性が担保された場で、すべての人々が人間らしく働き続けることができる社会を作り出すために、私たちは探索・発信を行っていきます。

働きがいと誇りを 感じられる社会

働くこととは、社会に対して働きかけることです。困っていたり、何かを欲していたりする誰かのために、何かをなすことです。すべての仕事には顧客が存在し、その顧客に対して何かをなすという意義や価値があります。そして、その意義や価値を提供することによって、人はフィードバックを受けます。それは、顧客からの感謝であったり、社会からの反響であったりするでしょう。そうした手応えにより、改めて人は自身の仕事の意義や価値を再認識することになります。また、同じ仕事に就いていても、一人ひとりが認識する意義や価値、手応えは違います。どのような意図でその仕事を選んだのか、どのような志向や能力が活かされていると感じるのかは人それぞれです。

つまり、働くこととは、自分らしさを活かすことでもあります。社会とのつながりのなかで、何らかの役割を果たし、自身の存在意義を確認する。環境がいかに変容しようとも、どのような仕事であっても、人が自分らしさを活かしていると実感し、働きがいと誇りを得ることができる。どんな時代もそんな社会でありたい。そして、そのためには、個々人の主体性に加えて、その仕事を託す人物、共に働く仲間の真摯な関与が不可欠です。一人ひとりが働きがいと誇りを感じながら働ける社会の創造に向けて、私たちは日々の活動を続けています。

そのときの自分に フィットした 仕事に出会える社会

一人ひとりが持っている志向、能力や経験は、人それぞれ。

だから、一人ひとりに向いている仕事もまた、人それぞれです。そして、それぞれのライフステージによって、働き方や働くことに求めるものは変わっていきます。結婚、出産・育児、子どもの就学、親の介護、自身の年齢や健康状態などによって、働くことと生活とのバランスは、時に大きく変わります。これまでは、そうした変化を企業に受け入れてもらえずに労働市場から退出する人が少なからず存在しましたが、これからはそうした人々を受け入れ、機会を提供していくことが求められます。さまざまな資質を持ち、さまざまな状況にあるすべての人が、その人にフィットした仕事に出会うことが

できる——そのような社会が待ち望まれます。

そして、そのような社会を実現するには、仕事もまた多様なものへと変化していくことが求められます。男性正社員が中心で毎日フルタイムで働くことを前提とした同質性の高い社会から、その人の状況や条件に適した仕事をアサインされ、それぞれが相互補完的に役割を分担していく異質性の高い社会への転換が待望されます。さらに、その前提として、さまざまな人々に公正・公平に就業機会が提供される、フェアでオープンな労働市場が形成されることが強く望まれます。こうした社会の創造に向けて、私たちは予測的・提言的な情報を発信し続けていきます。

何度でも 新しいスタートが 切れる社会

人生100年時代が訪れようとしています。それに伴い、人が働く期間は長期化していきます。70歳、75歳まで働くことが当然のこととなるばかりか、80歳まで働くことが常識になることも予見されます。一方で、テクノロジーの進化が、働く世界を変えようとしています。多くの仕事の中身が大きく変わり、これまで培った知識・スキルが、どんどん陳腐化していくことは避けられません。一部の仕事はなくなるでしょう。新たな仕事も生まれてくるでしょう。企業の寿命はどんどん短くなっていくことでしょう。つまり、人は、キャリアチェンジを何度も繰り返しながら、長い職業生活を過ごしていくことになるのです。

そのような急速な環境変化に対応しな

がらも、一人ひとりが生き生きと働き続けられるようになるためには、何度でも新しいスタートを切ることができる社会を実現することが求められます。いつ、どのようなキャリアステージにおいても、これまでの経験に縛られることなく新たな分野、新たな領域の仕事に携わることができるような社会の到来が求められます。職種ごとの労働市場の整備、教育と職業との接続、あるいは企業内でのキャリアコースの多様化など、広範な変革が必要となります。また、多様な経験をしてきた人を高く評価する、異分野の経験者を広く受け入れるなど、社会や企業の意識変革も必要になります。そのような社会を実現すべく、私たちはさまざまな人々との対話を重ねていきます。

キャリアに オーナーシップを 持っている社会

学校を卒業し、すぐに働き始める。最初に入った会社で定年まで勤め、それで職業人生を終える。そのようなキャリアが標準的であった時代は過去のものになっています。いい学校に学び、いい会社に入れば、安定した人生が約束される——といったモデルが機能していたのは昔の話です。これからの時代は、一人ひとりが、自らを見つめ、その人なりの、その人らしいキャリアを、自身の意思と行動で作りに上げていくことが求められます。自身のキャリアのオーナーは自分であることを、誰もが自覚し、実践していくことが問われます。それは、「みなと同じ生き方でなくてもいい」と一人ひとりが思うことから始まるでしょう。幸せになるための「標準的な人生やキャリア」があるという幻想から、一人ひとりが解放されることが、自身のキャリアのオーナーとなる出発点です。

そして、一人ひとりがその人らしいキャリアを自身で構築していくためには、職業生活のスタートに至るまでのキャリア教育の質の向上、個々人の志向・適性や望ましい働き方の発見と気づきをサポートするキャリア支援の仕組みなどの整備が必要です。みなが大学に進学する、みなが一斉に就職活動に取り組む、みな卒業と同時に就職するといった、キャリアスタート時の一律な社会規範やシステムを改めること、職業上の成功とは昇進・昇格していくことだ、働くのは定年までだという画一的で旧弊なキャリア思想や社会通念を、時代にふさわしいものへと改めていくことも必要でしょう。一人ひとりがキャリアにオーナーシップを持っている社会を創造するために、私たちは、私たちの思い描く未来像を広く社会に届けていきます。

● 正式名称

株式会社リクルート
リクルートワークス研究所

● 設立

1999年1月

● 所長

大久保幸夫

● 所在地

〒104-8001
東京都中央区銀座8-4-17 リクルートGINZA8ビル

● 活動内容

研究

- ・労働政策に関する研究
- ・就業構造・人材移動に関する研究
- ・組織・人事に関する研究
- ・個人のキャリアに関する研究
- ・キャリア教育に関する研究
- ・人材ビジネスに関する研究

調査分析

- ・個人の就業実態・意識に関する調査
- ・人材マネジメントに関する調査
- ・採用動向に関する調査
- ・労働市場に関するデータ

情報収集

- ・世界各国の労働政策・人材ビジネスの情報収集
- ・先進企業の人材マネジメントの情報収集

広報

- ・機関誌『Works』の発行
- ・研究紀要『Works Review』の発行
- ・研究報告書『Works Report』の発行
- ・研究所ウェブサイト

● 連絡先

E-mail: works@r.recruit.co.jp
TEL: 03-6835-9200
FAX: 03-3575-5229